

平成30年度 糸魚川売れる米づくりコシヒカリ生育情報 NO. 6

平成30年7月20日
糸魚川地域振興局農林振興部

【7月19日現在の水稻生育状況（指標値との比較）】

品種・田植え日・調査ほ場	草丈	茎数	葉数	葉色
コシヒカリ（田植え日：5月2～22日） （ほ場場所：榎、東海、滝川原、成沢、西川原、根小屋）	並	やや少ない	並	やや淡い

【生育状況】

- 高温が続き、前回調査日から葉色が低下（SPADで平均1.4減少）しています。河川沿いのほ場でSPAD値で31程度のほ場も多くみられます。特に、飽水管理を行っていないほ場では、葉色の低下が大きくなっています。
- 現時点の予想では、出穂期は前年より1～2日早い見込みです。

出穂期予想

集落（地区）	出穂予想日
成沢（西海地区）	8月1日
榎（能生地区）	8月3日
根小屋（根知地区）	8月6日

集落（地区）	出穂予想日
西川原（今井地区）	8月3日
東海（早川地区）	8月3日

【今後の管理】

- 水を入れないと葉色は低下します。今年は水を入れてもすぐなくなるため、こまめな水管理をお願いします。
また、可能な限り、水の更新をして水温の過度の上昇を防ぎましょう。
穂肥は、ほ場に水をたっぷりためてから実施してください。
出穂1ヶ月前を切りました。飽水管理は、出穂25日後まで継続しましょう。

- 1回目の穂肥は直ちに施用願います。

【コシヒカリ 1回目穂肥】 施用量：窒素成分 1～1.2kg/10a

（例 越後の輝き有機50穂肥で8kg～10kg/10a）

1回目の穂肥の目安：出穂18日前（幼穂長1cm）

草丈：79cm以下 葉色：4.5以下（葉色版：単葉） SPAD 34以下

2回目の穂肥は窒素成分で1.8kg/10a（例 越後の輝き有機50穂肥で16kg/10a）を必ず施用しましょう。

【コシヒカリ 2回目穂肥】

施用量 窒素成分 1.8 kg/10a

散布時期 出穂10日前（葉耳間長0、幼穂長8cm）又は1回目穂肥の7日後

次回の情報提供は7月30日の予定です。

【7月19日の生育調査結果】（東海、根小屋、滝川原、榎）は7月18日調査

ほ場場所（田植日）		榎（5/3）	西川原（5/6）	成沢（5/4）	東海（5/9）	根小屋（5/17）	滝川原（5/23）
草丈	本年値（cm）	82.0	78.2	79.2	78.1	72.3	72.4
	平年比（%）	107	101	98	98	94	105
	指標比※（%）	104	99	100	99	92	92
茎数	一株茎数（本）	21.2	17.8	20.2	21.6	16.7	20.2
	m ² あたり茎数（本/m ² ）	409	333	440	380	369	376
	平年比（%）	101	76	97	85	85	87
	指標比※（%）	97	79	105	90	88	90
葉数	本年値（L）	12.1	12.6	12.1	12.4	11.5	10.8
	平年差（L）	+0.2	+0.6	-0.2	+0.3	-0.3	-0.8
	指標差※（L）	+0.1	+0.6	+0.1	+0.4	-0.5	-1.2
葉色 SPAD値	本年値	32.4	31.4	31.8	30.1	33.5	31.7
	平年値	-2.5	-0.3	-2.7	-4.5	-1.5	-1.6
	指標値※	-0.6	-1.6	-1.2	-2.9	+0.5	-2.0

※指標値とは目標とする理想的な生育値であり、指標比は指標値に対する現在の生育値の割合、指標差とは現在の生育値と指標値との差である。